

平成 23 年 12 月 26 日
新日本製鐵株式会社

広州太平洋馬口鐵 鋼材生産出荷で累計 200 万トン達成

新日本製鐵株式会社（社長：宗岡 正二）が出資する中国ブリキ事業会社である広州太平洋馬口鐵有限公司(Guangzhou Pacific Tinplate 略称 PATIN)は、本年 11 月 10 日に 1997 年 2 月の操業開始以来、累計 200 万トンの生産出荷を達成しました。

PATIN は、開業 10 年目の平成 18 年に 100 万トンに到達しましたが、今回のこの成果は、そこから 5 年の間に中国国内の有力需要家との関係強化に努めた関係者の努力によるものです。

中国国内では今後ますます高品位のブリキ需要が増加する見込みで、これまでの活動をベースに一層安定した品位と生産の取り組みを継続し、中国国内の需要家のニーズに応えていきます。

【11 月 17 日に実施した記念式典】



中方出資者の代表者、地元政府幹部等の来賓を迎え、工場敷地内において記念式典を実施。
(左から) 広州轻工集团 莫凡副總經理、工業発展集团 洪汉松董事長、
広州市萝崗区人民政府庄凡夫副区长、PATIN 近松總經理

(参考) 広州太平洋馬口鐵有限公司の概要

設 立 1994年12月26日(操業開始は1997年2月14日)

場 所 広東省広州經濟技術開發区友誼路
(敷地面積: 110,296 m²、建物面積: 28,946 m²)

株主構成	新日本製鉄(株)	25.0%
	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)	20.0%
	三井物産(株)	20.0%
	北海馬口鉄(香港)	20.0%
	広州輕工工貿集團有限公司	7.5%
	広州經濟技術開發区工業發展總公司	7.5%

事業内容 プリキ製品(シート及びコイル)の製造・販売

(お問い合わせ) 総務部広報センター 03-6867-2146

以 上